

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・物価高、原油価格高騰等による不安もあるが、政府の迅速な経済対策が期待できる。このまま人も増え、消費者マインドも上昇する。
	○	商店街（代表者）	・川沿いで開催している月1のマルシェは引き続き人気を維持している。また連動して川沿いから街路へ、街路からアーケード街へと展開に広がりが出てきた。また開催回数も増加しており、回遊性も伴ってきた。
	○	衣料品専門店（経営者）	・比較的順調な出だしである。気候も良く、順調に行くと前年を上回る。ただし、原油価格の高騰などで今までと雰囲気が違うこともあり、客が購入に対し慎重になると厳しい。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	・飲食や食品、サービスのいずれも上向いている。来客数は計画を大きく上回って推移しており、5月の繁忙期においても順調な推移が期待できる。
	□	商店街（常務理事）	・中東問題が長期化しており、先行きが見通せない状況にある。消費者心理を下押しするネガティブな要因として受け止められており、物価高と併せて、当面は消費に前向きな動きが出てくるとは考えにくい。
	□	商店街（代表者）	・中東情勢の影響による燃料価格高騰の懸念があり消費者の行動は停滞気味になってきている。
	□	百貨店（マネージャー）	・中東情勢を始め、先行き不透明である。
	□	スーパー（店長）	・長引く物価高や目下の中東情勢などにより先行きが見通せない状況である。
	□	スーパー（店長）	・中東問題の解決と消費税の詳細が決定するまでは、現状維持で推移する。
	□	スーパー（企画担当）	・単価上昇は更に続き、客の比較購買や買い控えが発生してくる。
	□	スーパー（人事）	・経済対策が発動し効果が出るまでには時間が掛かる。
	□	スーパー（財務担当）	・地方自治体によるプレミアム付商品券の交付が本格化すれば、値上げによる消費マインド低下の下支えとなる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・物価高は止まらず、景気は良くならない。
	□	家電量販店（副店長）	・物価高などの影響が続き、景気回復は見込めない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・今後も販売停止車種が続く見込みであり、物価高もあり購買意欲は低下した状況が続く。
	□	乗用車販売店（従業員）	・原油価格の高騰を受け物価高も避けられないなか、客の購買意欲は低下しており、景気回復は期待できない。
	□	乗用車販売店（役員）	・経済対策や世界情勢が不透明であるため景気回復は見込めない。
	□	一般レストラン（経営者）	・原材料高により、販売価格を値上げした。例年は忙しい時期であるが、今後は値上げの影響が出てくる。
	□	旅行代理店（部長）	・物価高や国際情勢から難しい状況が続いている。
	□	タクシー運転手	・今後もお遍路の仕事があることから売上は現状維持で推移する。
	□	タクシー運転手	・食品の値上げやガソリン価格が上昇しているにも関わらず、それらの影響を懸念する声を聞かないことから、2～3か月先も現状と余り変わらないと判断する。
	□	観光遊園地（主幹）	・インバウンドを中心に、引き続き現状程度の来客数が見込まれる。
	□	設計事務所（所長）	・国際情勢に非常に不安を感じており、建設業界においてもまだ価格が上昇する。
	▲	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・前年に続き今年も商品の値上がりが続いているため、売上は減少する。
	▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	・仕入価格の高騰と品物不足が続いている。
	▲	一般小売店〔酒〕（経営者）	・物価高で消費者の節約志向は加速する。
▲	スーパー（企画担当）	・緊迫する中東情勢により、エネルギー等のコスト増加が見込まれるなかで、更に物価は上昇する。春闘による賃上げはあるものの、依然として消費に対する警戒感がある。	

	▲	スーパー（統括担当）	・中東情勢によって物価高に拍車がかかっている。
	▲	コンビニ（店長）	・商品価格の改定、物価高のなか目先の生活防衛のため、節約志向が強まる。4月は入学や進学に伴う支出があり、その他の買物は控ええられる。
	▲	コンビニ（店長）	・物価上昇の影響が出ている。今後も価格の上昇が予想されるため節約志向が更に強まり景気は悪化する。
	▲	コンビニ（総務）	・前年度開催された芸術祭の反動の影響が見通せないが、来客数は大きく減少すると見込んでいる。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・中東情勢の影響により景気は悪化する。
	▲	家電量販店（店員）	・前倒し需要の反動と価格上昇の影響により買い控えが起こる。
	▲	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・ガソリン価格の上昇やその他商品も値上げが見込まれていることから、外食産業にも影響があり買い控えが進む。
	▲	観光型旅館（経営者）	・ガソリン価格上昇や石油製品の価格高騰により旅行需要の動向が不透明である。
	▲	都市型ホテル（経営者）	・石油関連を中心とした物価の上昇から先行きが不透明であり、人流が制約されている。
	▲	通信会社（営業部長）	・新年度は例年動きがない傾向にある。現時点で上昇する要因はなく、現状維持で推移する見込みである。
	▲	通信会社（営業担当）	・様々な商品の値上げの影響があり節約志向は強くなる。
	▲	美容室（経営者）	・ゴールデンウィークで県外からの客がどれくらい来るかがポイントになる。
	▲	美容室（経営者）	・例年3月は繁忙期であり売上は確保できたが、今後さらに良くなる要素がない。
	×	コンビニ（商品担当）	・中東情勢や原油価格の高騰等不安要素が多い。
	×	衣料品専門店（営業責任者）	・原油価格や商品価格の高騰で、消費行動を活性化させる話題や雰囲気がない。店頭でも同様であり、景気は悪化する。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—
	○	繊維工業（経営者）	・春夏の需要期であり、しばらくは好調が続く。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・ゴールデンウィークに掃除をする人が増えるため、今後はウェットクリーナーの売上が増加する。キッチンペーパーは生産が追い付いておらず、生産力が上がれば更なる売上増加となる。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	・中東情勢に左右される。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・中東問題により政治・経済が影響を受けており、その状況が当面続くことが予想される。特に石油関連の価格高騰による経済への影響が出てくる。
	□	建設業（経営者）	・今までと大きな変化はない。金利の上昇が不安要因である。
	□	建設業（経営者）	・官民とも工事が少ない。
	□	通信会社（総務担当）	・次年度への受注積上げができていない。
	□	通信業（企画・売上管理）	・例年3月は需要が活発な時期である。今後も同様の景気を見込んでいる。
	▲	食料品製造業（商品統括）	・中東問題は解決まで時間を要する可能性が高い。食品業界は、原料の輸入品も多く、燃料費、包材費、輸送費高騰による買い控えが懸念され、景気は悪化する。
	▲	鉄鋼業（総務部長）	・中東情勢の影響が継続し、仕入コストが増加する。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・資源、原料が入手できなくなる状況になっており、景気は悪化する。
	▲	建設業（総務）	・中東情勢で先行きが不透明である。
	▲	輸送業（経営者）	・燃料価格が不安定である。
	▲	金融業（副支店長）	・中東情勢の影響で原油価格が高騰しており景気が悪化する。
	▲	不動産業（経営者）	・物価高により景気に減速感がある。
	▲	広告代理店（経営者）	・物価高の懸念があり、多くの取引先は販売促進広告を削減している。
	▲	広告代理店（経営者）	・現状では好転する材料がない。
	▲	税理士事務所	・中東情勢の影響により、まだ物価が上昇する。
	×	×	食料品製造業（経営者）

	×	木材木製品製造業（営業部長）	・中東情勢の影響を受け樹脂シート関係、接着剤、こん包資材などの資材入荷が不透明の状況、また値上げの要請もあり生産に影響がある。販売価格の値上げをしなければ今期は大幅に利益が減る。
	×	化学工業（所長）	・製品価格の高騰は避けられず、景気は悪化する。
雇用 関連  (四国)	◎	—	—
	○	—	—
	□	人材派遣会社（オフィス責任者）	・大きく変化する見込みがなく現状維持で推移する。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・新年度の求人募集が開始されたが、前年までと比較して特に変化はみられない。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・現時点で求人状況に変化はない。原油不足、物価の上昇、賃上げの動き等、企業収益に影響を与える要素があるため、今後の動向は不透明である。
	▲	人材派遣会社（総務部長）	・最低賃金引上げによる影響がある。
	▲	求人情報誌（営業）	・中小企業は新卒採用で苦戦している。初任給の大幅な引上げも困難であることから、今後の採用も苦戦する。
	▲	求人情報誌制作会社（経営者）	・異動時期が落ち着き、求人数が減少する。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・民間企業の業況が回復しない限り、当県全域の景況感是好転しない。
	×	職業安定所（求人開発）	・為替変動や原油価格の高騰が資材費・原材料の輸送費に大きく影響してくる。先行きが不透明である。